

奈良市音声館他3施設に係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	奈良市音声館
申 請 団 体 の 名 称	一般財団法人奈良市総合財団

審査日 令和3年1月29日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査								意見
		A	B	C	D	E	可の数	否の数	判定	
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点			意見	
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
1 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	3	3	2	2	2	2.4	12	60	15	75	39%	・施設の様々な場所を有効利用している様子がよい。 ・課題を踏まえたうえで「子ども邦楽教室」を展開しようと企画している。	
	② 事業実施計画及び達成目標	2	3	2	2	2	2.2	11		15				
	③ 自主事業実施計画及び達成目標	2	3	3	2	3	2.6	13		15				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	2	3	2	2	3	2.4	12		15				
	⑤ 施設の目標設定	3	3	2	2	2	2.4	12		15				
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	2	2	2	2	2	2	10	10	25	25	13%		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	2	2	2	2	3	2.2	11	36	15	45	24%	・これまでの類似事業の実績は十分である。	・限られた職員数の中での事業にもっと地域の人の手を借りれないか。
	② 類似事業の実績、ノウハウ	3	3	3	2	3	2.8	14		15				
	③ 財務状況の健全性	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
4 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 行政との連携	3	2	2	2	3	2.4	12	35	15	45	24%	・行政との関係が密であり、安定した団体である。	
	② 地域における連携・貢献について	2	3	3	3	1	2.4	12		15				
	③ 指定期間中の具体的な達成目標	2	2	2	2	3	2.2	11		15				
合計点		29	31	27	25	29	28.2	141	141	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

〔総評〕
・習い事などの専門的意識が高まる取組み等を加えることを考えてみては。 ・行政との安定的な関係を活かし、今後さらに踏み込んだ提案を期待したい。 ・コロナの影響による利用者の減少が懸念される。自主事業を充実し、館を活性化させる取組みを検討して欲しい。 ・既存事業に関する分析で職員の対応についての満足度が高い点が評価できる。

奈良市音声館他3施設に係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	なら100年会館
申請 団 体 の 名 称	一般財団法人奈良市総合財団

審査日 令和3年1月29日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査							意見	
		A	B	C	D	E	可の数	否の数		判定
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点		意見		
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
1 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	2	2	2	3	3	2.4	12	59	15	75	39%	・多くの文化芸術体験の機会を作っている。 ・コロナ拡大に伴う対応の影響を明記されていることが評価できる。使用料上昇のための方策を検討して欲しい。	
	② 事業実施計画及び達成目標	3	2	2	2	3	2.4	12		15				
	③ 自主事業実施計画及び達成目標	2	2	2	2	3	2.2	11		15				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	2	2	2	2	3	2.2	11		15				
	⑤ 施設の目標設定	3	3	2	2	3	2.6	13		15				
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	2	2	2	2	2	2	10	10	25	25	13%		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	2	2	2	2	2	2	10	34	15	45	24%		
	② 類似事業の実績、ノウハウ	2	3	3	2	3	2.6	13		15				
	③ 財務状況の健全性	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
4 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 行政との連携	3	2	3	3	2	2.6	13	35	15	45	24%		
	② 地域における連携・貢献について	2	2	2	2	3	2.2	11		15				
	③ 指定期間中の具体的な達成目標	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
合計点		29	26	26	26	31	27.6	138	138	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

〔総評〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・館の中にもっと有効に一般に開放するスペースがあるのでは。</li> <li>・常に人の姿があり、笑い声が聞こえる場となる取組みが欲しい。</li> <li>・施設、設備の老朽化対応、さらにコロナの影響により厳しい管理運営がしばらく続くのでは。運営やイベント開催の新たな手法を模索して欲しい。</li> <li>・施設の維持管理に苦劳いただいている。</li> <li>・市内、市外に関わらずより多くの人に満足していただける施設を目指して欲しい。</li> <li>・消防訓練だけでなく、災害時の避難誘導訓練等も実施しており、集客施設の管理者として安心できる。</li> <li>・提案事業、自主事業も多く魅力的だと思われる。</li> </ul>

奈良市音声館他3施設に係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	奈良市ならまちセンター
申請 団 体 の 名 称	一般財団法人奈良市総合財団

審査日 令和3年1月29日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査							意見	
		A	B	C	D	E	可の数	否の数		判定
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点		意見		
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
1 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	2	3	2	2	3	2.4	12	58	15	75	39%	・コロナの影響を少しでも抑えるために、地域団体との連携も視野にいれている。	
	② 事業実施計画及び達成目標	2	2	2	2	2	2	10		15				
	③ 自主事業実施計画及び達成目標	3	2	3	2	2	2.4	12		15				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	2	3	2	2	3	2.4	12		15				
	⑤ 施設の目標設定	2	3	2	2	3	2.4	12		15				
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	2	2	2	2	2	2	10	10	25	25	13%		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	2	2	2	2	2	2	10	34	15	45	24%		
	② 類似事業の実績、ノウハウ	2	3	3	2	3	2.6	13		15				
	③ 財務状況の健全性	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
4 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 行政との連携	3	3	2	3	3	2.8	14	41	15	45	24%	・地域の中で中心的な行政機関としての位置づけが少ない。	
	② 地域における連携・貢献について	3	3	3	3	3	3	15		15				
	③ 指定期間中の具体的な達成目標	3	3	2	2	2	2.4	12		15				
合計点		29	31	27	26	30	28.6	143	143	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

〔総評〕
・企画内容若しくは参加者が偏っているように感じられる。集客に工夫が必要か？ ・奈良観光の中心地にあるという立地と意識した情報発信や地域貢献を意識して管理運営にあたっている。今後、高齢化等の地域課題に対しても取り組みを進めて欲しい。 ・ならまちの中心にあるという立地を活かし、奈良の魅力を発信する施設として、適切な管理運営を望む。 ・天候に左右されるにも関わらず、センター芝生広場を活用しての事業魅力的である。また、集客に対する現状分析や方策もしっかり行っており評価できる。

奈良市音声館他3施設に係る奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設 の 名 称	奈良市美術館
申請 団 体 の 名 称	一般財団法人奈良市総合財団

審査日 令和3年1月29日

可否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査									意見
		A	B	C	D	E	可の数	否の数	判定		
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適		

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点			意見	
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
1 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	2	3	3	3	3	2.8	14	60	15	75	39%	・問題の多い状況の中で、地域の人たちとの連携事業に積極的に取り組まれている。 ・施設の現状認識において、はっきりと厳しい状況にあることを直視している。	
	② 事業実施計画及び達成目標	2	3	2	2	3	2.4	12		15				
	③ 自主事業実施計画及び達成目標	2	3	3	2	3	2.6	13		15				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	2	3	2	2	2	2.2	11		15				
	⑤ 施設の目標設定	2	2	2	2	2	2	10		15				
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	3	3	3	3	3	3	15	15	25	25	13%		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	2	3	2	2	3	2.4	12	35	15	45	24%		
	② 類似事業の実績、ノウハウ	2	2	3	2	3	2.4	12		15				
	③ 財務状況の健全性	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
4 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 行政との連携	3	3	3	3	3	3	15	38	15	45	24%		
	② 地域における連携・貢献について	2	3	2	2	2	2.2	11		15				
	③ 指定期間中の具体的な達成目標	2	3	2	2	3	2.4	12		15				
合計点		27	33	29	27	32	29.6	148	148	190	190	100%		

審査項目の総数	12
委員の半数以上が「劣っている」以下で評価した審査項目	0
適否判定	適

〔総評〕
・この館の位置づけをさらに明確にすべきではないか。 ・芳しくない状況であることを理解し、創意工夫して運営されている点を高く評価する。 ・音を出すことが許容されるなら、美術造形にこだわらない発想や創作の場としての活用あり得るかもしれない。 ・コロナの影響により、貸館事業など運営には苦勞されている。今後も関係団体や行政等と連絡をとり、活性化を図って欲しい。 ・指定管理料について、経費削減を行い、前年度より低い額で提案しており評価できる。